

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	元八王子保育園
-----	---------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

水

<テーマの設定理由>

蛇口から出てくる水やタライに溜まった水を利用し、遊びが発展することが多く見受けられたため。

2. 活動スケジュール

8月…ペットボトル水路を作成し、プール遊びの場所に設置する。

- ・子どもたちは水路に水や玩具を流す。
- ・水量の調整をする。
- ・色水を流す。

9月…プール納めとなり、水を用いた本テーマの活動は終了となる。

活動を通して、高低差や水量によって水の流れに変化が生じることに気づき、遊びが発展することをねらう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した道具】 ペットボトルで作成した水路、水遊び用の玩具、バケツ、じょうろ、柄杓、タライ、子どもの腰丈サイズのプール、水、絵の具、筆

- ・使い方を示すため、水路はプールの淵に立てかけた状態で子どもたちに提示した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

保育者の真似をして、じょうろや柄杓を利用し水路に水を流す。次第に水だけでなく、玩具も一緒に流し、玩具の動きに興味を示すようになる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・最初は水だけを流していたが、ある子が水路に玩具を入れる。玩具だけでは動かなかったが、別の子が後から水を注ぐと玩具と水と一緒にタライへと流れた。この動きに、「動いた」と声があがる。同様の活動を繰り返すうちに、「いってらっしゃ〜い」と声をかけて玩具を流すようになる
- ・水が流れつくタライの中に入り、水の流れや玩具の動きを身体で感じる子もいる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・水量の多い少ないで、流れの勢いが変わるところまでの気づきはなかった。保育者の導きにより、傾きの加減や水量の差に変化を加えることで遊びの展開が期待できる。
- ・ペットボトルの水路には凹凸があったため、途中で引っかかって玩具が止まってしまうことにもどかしさを感じている様子があった。次年度の水遊びでは、ストレートな素材で傾斜を作りたい。